

小沢氏初公判 第3の検察と化した記者クラブ | TheNews

<田中龍作>

土地購入をめぐる政治資金規正法違反（虚偽記載）で検察審査会の議決によって強制起訴された小沢一郎・元民主党代表。6日夕方、初公判を終え国会内で記者会見を開いた。

小沢氏は法廷で行った意見陳述をもう一度読み上げた。続いて記者クラブ幹事社からの質問だ。筆者は会見が始まる前、記者クラブから出されるであろう質問を予想し、それをツイートした。「秘書が有罪になったが...」「議員辞職はしないのか？」などだった。

幹事社（今月はテレビ朝日、共同通信）はものの見事に筆者の予想に沿った質問をしてくれた。テレビ朝日の記者が「秘書が有罪になったことの道義的責任は?」「議員辞職しないのか?」と質問したのだった。

小沢氏は次のように答えた

「私も私の秘書も有罪とされるようなことはしていない。有罪の証拠はない。裁判官が自分の推測にもとづいて判決を下した。（議員辞職など）そのようなことは考えていない」。

共同通信記者の質問は—

「野党は証人喚問を要求しているが、国会で責任を果たす予定は?」
「4億円の原資は何だったのか?」

小沢氏の回答は—

「3権分立を何と考えているのかね。君はどう考えているのかね」。
小沢氏から逆質問されると、共同通信の記者は絶句してしまった。

「4億円は自分のお金です。検察に聞いて下さい。検察が1年以上、私の知らないことまで捜査しているのだから」。

検察リークを垂れ流していることへの強烈な皮肉だった。

検察審査会が第2の検察と言うなら、記者クラブは第3の検察である。

筆者も毎度おなじみのワンパターンな質問をした。情けない話だが、この問題に行き着くのである。

「小沢さんがこうまで検察とマスコミに狙われるのは『検察人事』『記者会見のオープン化』『クロスオーナーシップ』に踏み込もうとしているからではないか?」

小沢氏はこう答えた。「検察人事に介入したことはない。記者会見は開かれたものでなければならない。（クロスオーナーシップについては）集中排除の法律を守らなければならない」。

「あいつ（田中）はいつも同じ質問ばかりだな」とバカにされるのは承知のうえだった。記者クラブ制度と検察の体質を改善しない限り、日本という国が破滅に向かうと思うからである。



初公判を受けての小沢氏記者会見。会場は立錫の余地もないほど記者やカメラマンで埋め尽くされた。（6日夕、衆院第2議員会館。写真：筆者撮影）

« [小沢氏初公判 暗黒裁判始まる](#) ←前の記事

次の記事⇒[小沢氏緊急入院 かかりつけ私立大学病院のため病状は漏れず](#) »

[田中 龍作](#) プロフィール: 世界の紛争地域を名もなき人々の視点から取材・執筆。 『田中龍作ジャーナル』 <http://tanakaryusaku.jp/> で発信を続けている。

投稿日: 2011年10月 7日. 投稿カテゴリ: [FEATURE](#), [インサイドレポート](#), [最新ニュース](#), [田中龍作](#).

